

各種審議会等審議結果公表シート

会議の名称	平成 25 年度第 1 回中津川市博物館等協議会
開催日時	平成 25 年 8 月 20 日（火）13 時～16 時 15 分
開催場所	中津川市鉦物博物館 研修室
出席者の役職名	委員 8 名（欠席 3 名） 教育長・文化スポーツ部長・文化振興課長・鉦物博物館長（兼苗木遠山史料館長兼青邨記念館長）・中山道歴史資料館長・苗木遠山史料館副館長 鉦物博物館館長補佐・学芸員・文化振興課学芸員 3 名
話し合われた内容 （会議録又は 審議概要）	<p>1 協議会新委員任命 3 名</p> <p>2 協議会長挨拶</p> <p>3 各館企画展視察（学芸員による説明）</p> <p>①鉦物博物館「第 17 回企画展 教授を魅了した大地の結晶」</p> <p>②東山魁夷心の旅路館「第Ⅱ期展 青の軌跡」</p> <p>③苗木遠山史料館「郷土の歴史と文化シリーズ 5 坂下地域の歴史展」</p> <p>・教育長あいさつ</p> <p>・各館視察後の指摘事項等</p> <p>会長 今日視察の感想と、今後どうしていったらよいのか意見をうかがいたい。 事務局から資料の説明をお願いします。</p> <p>事務局より年度別各館利用者数の推移を説明。</p> <p>委員① 年間利用者数について、施設によって月別に特徴があるが、これについて何か考えは。</p> <p>事務局 子ども科学館、鉦物博物館については、5 月の連休と夏休み期間中の利用者が多くなっています。対象が子どもと親子連れでありますので、その期間中に合わせたイベントを実施しています。</p> <p>委員② 集客数を増やすという観点から、東山心の旅路館などの広報はどうしているのか。ここは市外からのシニア層が客層になると思うが。市外へのアプローチをもっとすべきである。館に置いてあったチラシを例えば、下呂のホテルとかシニアの</p>

	<p>人たちが立ち寄る所に置いておけば効果があるのではないか。</p> <p>事務局 全体広報の状況を説明 市広報半ページに博物館便りを毎月掲載、各館ホームページによるお知らせなど。</p> <p>会長 委員から、少しでも多くの人に来てもらうには、市内だけではなく市外へもチラシなどを置くか、配るか、という意見がありました。</p> <p>市の広報 8月号がありますが、博物館のページがあります、問題はこれをどれだけの人が見てくれるかということです。毎月毎月掲載されますが、市内だけではなく市外にもチラシなどを置くかということですね。</p> <p>残念ながら、市民でもなかなか広報は見ないですね。県の広報も今は1枚になってしまいました。</p> <p>見方を変えて、1枚ものでよいので町内会の回覧で配布すれば見てもらえるのではないか。</p> <p>より多くの人に来館していただくのが最終の目的であるので、今後もう少し考え方を変えてより多くの人に見ていただく広報をしていくべきである。</p> <p>委員② 東山に限って言えば、市民よりも市外県外の人たちへのイメージを持ってPRしていくべきである。</p> <p>道の駅とかに置くとか、近場の観光地から足を運んでもらえるようにするとよい。</p> <p>委員③ 各館の企画展示は見ごたえがありました。</p> <p>暑い中視察したこともありますが、各館に鑑賞した後リラックスして休める空間があるとよいと感じた。自販機は設置してあるが、目立たない所にあるため鑑賞した後に子どもに飲み物を与えたいと思っても、わざと隠してあるようなので、ここは休憩スペースですよとわかりやすくしていただけると良い。子ども連れにはそういう空間があるとありがたい。</p> <p>委員④ 自販機については、わかり易い場所にあるとよい。</p> <p>入場料は、安いほうがいい。</p> <p>東山魁夷館へは、賤母の道の駅へは立ち寄るが、なかなか入館までは足が向いていなかった。家族での入館だとけっこうな入場料になるので。</p> <p>展示期間が表示してあったが、何回見れば全ての作品が鑑賞できるのかということがわかると良い。リトグラフの説明も中学生にわかり易いような物があると良いと思いました。</p> <p>昨年度、全館無料にすればとの意見を出しましたが、無料に</p>
--	---

	<p>してしまうと来ないかもしれないですね。それとは別で、全館無料券付きのチラシを配布する、半年の期限付きとかで。</p> <p>1 回目は無料入館していただき、東山などのように次の展示は有料で入館して頂くように。せっかくの財産ですからできるだけ多くの市民の方に見ていただく工夫をお願いします。</p> <p>委員① 社会見学の利用状況はどうか。</p> <p>事務局 科学館ですと、チラシを市内の学校へ配布すると同時に範囲を広げて恵那の学校へも配布しているようですが。</p> <p>委員⑤ 社会見学は、鉱物博物館、子ども科学館などには、市内小学校3・4年生が来館しています。5年生では市内2校が理科授業の一環で来館しています。</p> <p>委員⑥ チラシについては、鉱物博物館、子ども科学館のを恵那市教育委員会を通じて恵那市小中学校へ市内と同じものを配布しています。</p> <p>委員⑦ 鉱物博物館ですと、中学校1年生の理科授業で利用できることがあります。</p> <p>会長 チラシの内容で、夏休みの勉強に役立つことがあり、生徒に教えてあげたことがありましたが、好きな子供たちは居るので、市内だけではなく市外の学校などへアプローチをすればよいと思いました。</p> <p>事務局 私は絵画や鉱物のことについては素人ですが、学芸員さんが、説明書を読む前にまず実物を見てほしいという、説明がありましたので、実際よく見ると綺麗さとか迫力が解るので良かったです。市民の方たちも私と同じような感覚だと思います。親が興味を持たなければ子どもを連れて来館しないので、親世代に来ていただくには、例えば学校行事とかPTAの行事に利用していただき説明し親も無料にすれば、親が興味を持つようになり、次には子どもを連れてまた来館するようになるのではないかと。親世代にもっとアプローチすることがあるとよい。</p> <p>会長 市民の方にはいかに足を運んでもらうかということを考えないといけない。</p> <p>事務局 一度来館し解ってもらえばまた次に繋がるので、宣伝の方法など考えていく。</p> <p>会長 それをこの会としても考えていくことが大事である。</p> <p>事務局 広報の「恵那山」の配布先と部数を教えてください。</p> <p>会長 配布先は、報道機関、寄贈者、他の博物館など市内及び恵那市のホテル、市内小中学校、教育委員会などです。</p>
--	---

	<p>発行部数は 1,800 部です。</p> <p>会長 そうすると一般の人たちには届かない。非常に良いものである るので、これをダイジェスト版にして配布するとかすればど うか。</p> <p>実物を見てほしい、そして感動してほしい、それを一般の人 達に伝えるには、広報の仕方という、今はキャッチフレー ズの時代です。いかに見てもらうか、キャッチコピーを作り、 チラシなどに記載する。</p> <p>入り口にそれを掲示するなど、まず実物を見てもらう工夫が 必要である。</p> <p>委員⑥ バス会社などへ、ツアーに組み込んでいただくようなアプロ ーチはしていますか。</p> <p>事務局 チラシは一部の所へは行っていますが、手広くには出来てい ないです。</p>
	<p>会長 入館者数だけではなく、色々な問い合わせも件数になるので、 統計するには難しいかもしれないが、これも PR しているこ とになるので、把握できればよい。</p> <p>最後に教育長から一言いただきます。</p>
	<p>教育長 貴重なご意見ありがとうございました。</p> <p>私自身もですが、何のために何をするのかということをもう 一度考え直す、見つめ直す。</p> <p>チラシ 1 枚にしても何のためにこれを作成するのか、見てほ しかったら、見てほしいことを言葉に込めて作成する。</p> <p>そのほうが返って解り易いのではないかと考えています。</p> <p>どうしても専門的な説明になりがちですが、そうではなくて 入り口として今回の鉱物の展示でも見てもらいたいというこ とを前面に出すこと。観光とつなげる、ということだと、 苗木城の CG が出たことで随分変わってきています。他との 繋がりを大切に常にアンテナを高くしておくが大事である。</p> <p>子どもから大人へ繋げるということでは 解り易さ、引き付 ける言葉が有効ではないかと思いながら、今回視察させてい ただきました。</p>
	<p>部長 貴重なご意見拝聴しました、ありがとうございます。</p> <p>各館で企画展示を行っていますが、外に向かったの PR、そし ておもてなし、それと各館の魅力をアップして行く活動を外</p>

	<p>に向かってしていかなければならない。職員の自己満足ではなく、皆さんに見てもらおうことが大切だと思っています。頂いたご意見を一步進めて、各館共に実行に移していきたいと思っております。</p> <p>会長 ここで出た意見を宿題として、次回までに検討していただきたい。 本日は、これで散会とします。</p>
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・博物館の利用者月間推移（平成 18 年度～25 年度）
管部課	<p>鉱物博物館</p>